



# 水辺再生100プラン

## ■ 伊賀袋／加須市伊賀袋、駒場



### 位置図



### 事業概要

事業期間 平成21年度～平成23年度  
 総事業費 250,000千円  
 事業内容  
 ○自然環境創出ゾーン  
 ・植生盛土(パ-パ-スラッジ土質改良材)  
 ・遊歩道(スガ舗装、散策デッキ、安全施設等)  
 ○憩いの場創出ゾーン  
 ・護岸工(ジセル工法、積みブロック等)  
 ・遊歩道(スガ舗装、張出歩道、安全施設等)

### 地域の声

- ・いい散歩コースができた。
- ・崩れそうな護岸が整備され安心できる。
- ・景観がよくなった。

### 事業経緯

#### 旧川水辺環境整備推進委員会

- ・第1回 (H21. 4.28)
- ・第2回 (H21. 6.18)
- ・第3回 (H21. 9.14)
- ・第4回 (H22. 3. 8)
- ・第5回 (H22. 5.27)
- ・第6回 (H22.10.15)
- ・第7回 (H23. 6.14)
- ・第8回 (H23. 9.末)



検討会メンバー  
 地元4自治会長、伊賀袋の水と緑を守る会、  
 地元代表、加須市(北川辺総合支所)、県



#### 地域活動

- ・地元自治会が河川美化(清掃)活動を実施
- ・加須市が毎年5月にあやめ祭りを実施

### 整備の状況



整備前

水辺に近づけず、護岸も浸食されている。(H22.3撮影)



整備後

遊歩道整備や植栽により良好な水環境となった。(H23.6撮影)

整備テーマ  
ポイント

水辺にふれあうことができ、憩いと安らぎのある水辺空間の創出

- ポイント①：水辺に近づき、自然と触れ合える、良好な水環境をつくる
- ポイント②：河川の自然環境と調和した景観をつくる
- ポイント③：生き物が生息しやすい環境をつくる

★：ビューポイント

水辺が一望できる遊歩道

既存の樹木を保全しながら旧川を一望できる遊歩道を整備しました。また、遊歩道は車道と分離し、川側に柵を設け、安全にも配慮しました。



水辺に近づける散策デッキ

水面上にデッキを設置し、安心して水辺空間に近づき、親しみの持てる水辺空間を創出しました。

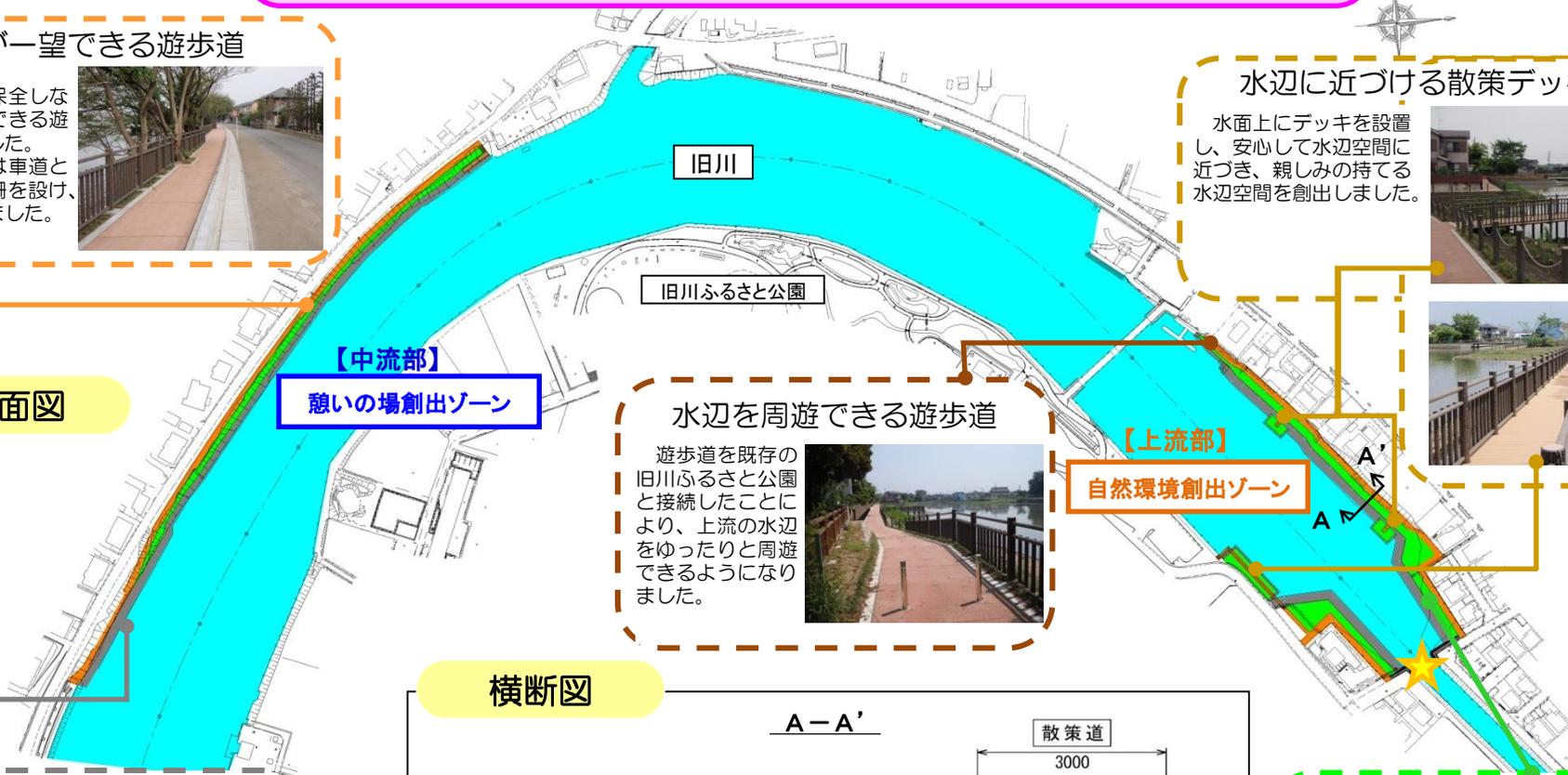


水辺を周遊できる遊歩道

遊歩道を既存の旧川ふるさと公園と接続したことにより、上流の水辺をゆったりと周遊できるようになりました。



平面図



水辺に近づける散策道

水辺に近づける散策道を整備しました。また、水際の法面には波浪浸食を防止する護岸を設置しました。



自然環境を創出する植生盛土

多孔質なカゴマットを配置し、魚の生息環境を確保すると共に、自生種であるマコモ等を植栽し、景観の復活を図りました。



横断面図

